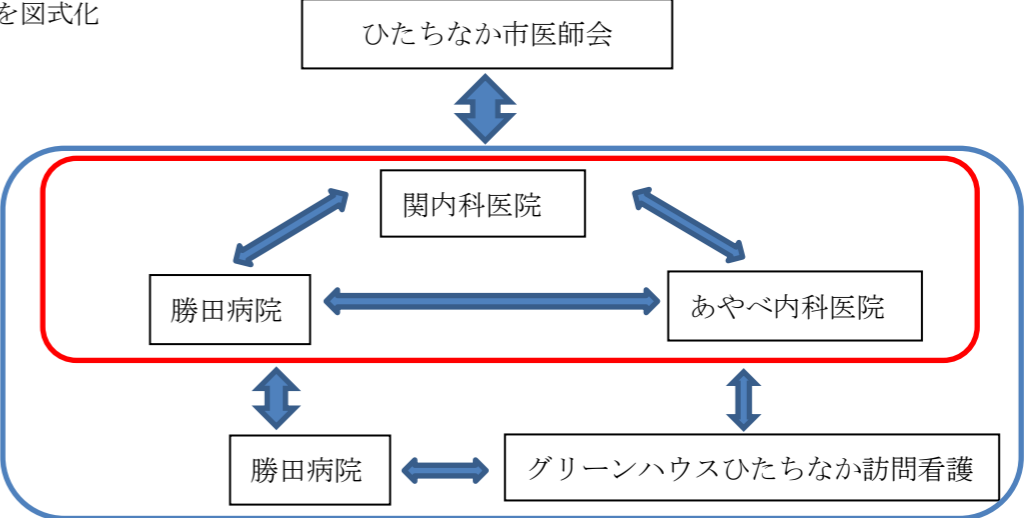


※本票（別添 1 - 2）は公表資料として活用する。（取組状況に応じて随時、修正するものとする）。

令和 4 年度茨城県医療提供施設等グループ化推進事業計画（報告）書

※これから在宅医療への参入又は拡充に取り組む医療機関等の連携強化を支援する取り組みについて記載するものとする。
 なお、必要に応じ、後方支援病院や在宅医療専門診療所（機能強化型在宅療養支援診療所を含む）などの支援（補完）を得て、在宅医療を提供する切れ目のない診療体制の仕組みづくりに取り組むものである。

【地域で支え合う医療機関等の連携体制を構築するために必要な 3 つの取組】

取組事項	取組内容	現 状 (補助金交付申請の前月から過去 6 箇月間の状況)	計 画 (補助金交付申請の月から翌年 3 月末までの取組)	実 績 (補助金交付申請の月から翌年 3 月末までの取組)
1 グループ化した医療機関等を支える取組 ※グループ内の取組に関すること。	①事務局、調整機能を担う方：ひたちなか市医師会 ②打ち合わせ等の内容・開催方法・回数・参加機関等：なし ③体制作りのための取組内容等： ・令和 4 年度新規参入となったあやべ内科医院は、在宅診療で使用し連携の利便性を図る目的で、ノートパソコン及び iPad を購入する。ノートパソコン及び iPad は、あやべ内科医院で管理する。 ・24 時間連絡体制が必要な症例に対しては、患者様からのファーストコールを、グリーンハウスひたちなか訪問看護ステーションに、日中のコールについてはグリーンハウス訪問看護に加えて、関内科医院及びあやべ内科医院又は勝田病院の訪問看護科等が対応できるよう体制を整えます。 ・入院が必要となった症例に対しては、勝田病院に積極的に受入を依頼し、救急時の連携を速やかに行います。	○ 連携体制を図式化		
2 患者・家族を中心とした在宅医療を推進するための取組 ※地域との連携に関すること。	①事務局、調整機能を担う方：ひたちなか市医師会 ②打ち合わせ等の内容・開催方法・回数・参加機関等： ・研修会（ひたちなか市主催、多職種協働のための意見交換会）・オンライン開催・テーマ：「在宅医療・介護連携に関する講演会～23 年間の在宅医療を通して見えてきたこと、伝えたいこと～」・1 回（R4.9.15 開催）・市内医療機関、介護事業者等 ・打ち合わせ（電子@連絡帳講習）・オンライン開催・1 回・グループ内の医療機関等 ③グループ内の取組課題を地域に提案、地域で解決に向けた取組等： ・地域との連携推進のため、ひたちなか市が主催する医療・介護関係者の研修会に参加し、多職種での顔の見える関係作りや情報共有の場とします。 ・電子@連絡帳のプロジェクト機能を活用し、地域包括支援センターや介護支援専門員等関係機関とシームレスな連携を図ります。また、連携に際しては、事前に患者の同意を得た上で、電子@連絡帳に患者登録を行い、必要最小限の基本データが閲覧できるようにします。	・研修会 年 0 回 ・打ち合わせ 年 1 回	・研修会 年 1 回 ・打ち合わせ 年 1 回	・研修会 年 1 回 ・打ち合わせ 年 1 回 (3/23)
3 在宅医療についての普及啓発活動等の取組を行う取組	記載のポイント（主催、誰が・誰に対して行うのか、開催頻度、取組内容） ・過年度作成した在宅医療や多職種連携による支援についてのパンフレット、人生会議の啓発のチラシ・ポスターを、市内の診療所及び訪問看護ステーションにおいて掲示・配布する事で、患者・家族等に対し在宅医療についての普及啓発活動を実施していきます。	・普及啓発活動の継続実施	・普及啓発活動の継続実施	・普及啓発活動の継続実施

※「参入促進・連携（グループ化）の取組効果」の公表の取扱について、1から2の事項については個々の医療機関の情報は公表せず、連携する医療機関内の合計数を公表する。また、3の事項（死亡患者数）については公表の対象とせず、医療機関からの報告のみとする。

【参入促進・連携（グループ化）の取組効果】

1 在宅に赴いて診療（往診、訪問診療）する合計診療患者数（※実人数を記載）

	医療機関名	現 状	計 画	実 績
	※医療機関ごとに記載	(補助金交付申請の前月から過去6箇月間の状況)	(補助金交付申請の月から翌年3月末までの取組)	(補助金交付申請の月から翌年3月末までの取組)
在宅に赴いて診療（往診、訪問診療）する合計診療患者数（※実人数を記載）	・勝田病院	41名	40名	50名
	・関内科医院	41名	45名	10名
	・あやべ内科医院	4名	1名	6名
		名	名	名
	連携する医療機関内の合計	86名	86名	66名

※在宅に赴いてこれから診療を始めようとする、又はその取り組みを拡充しようとする医療機関における合計診療患者数（※実人数を記載）を記載。

※「在宅に赴いて診療（往診、訪問診療）」とは、自宅へ赴くものとする。施設、グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅等は含まない。

2 在宅に赴いて診療（往診、訪問診療）する合計回数

	医療機関名	現 状	計 画	実 績
	※医療機関ごとに記載	(補助金交付申請の前月から過去6箇月間の状況)	(補助金交付申請の月から翌年3月末までの取組)	(補助金交付申請の月から翌年3月末までの取組)
在宅に赴いて診療（往診、訪問診療）する合計回数	・勝田病院	合計回数:223回(うち往診:18回、訪問診療:205回)	合計回数:192回(うち往診:12回、訪問診療:180回)	合計回数:334回(うち往診:30回、訪問診療:304回)
	・関内科医院	合計回数:314回(うち往診:149回、訪問診療:165回)	合計回数:79回(うち往診:37回、訪問診療:42回)	合計回数:82回(うち往診:2回、訪問診療:80回)
	・あやべ内科医院	合計回数:15回(うち往診:15回、訪問診療:0回)	合計回数:7回(うち往診:1回、訪問診療:6回)	合計回数:21回(うち往診:2回、訪問診療:19回)
		合計回数:回(うち往診:回、訪問診療:回)	合計回数:回(うち往診:回、訪問診療:回)	合計回数:回(うち往診:回、訪問診療:回)
	連携する医療機関内の合計	合計回数:552回(うち往診:182回、訪問診療:370回)	合計回数:278回(うち往診:50回、訪問診療:228回)	合計回数:437回(うち往診:34回、訪問診療:403回)

※在宅に赴いてこれから診療を始めようとする、又はその取り組みを拡充しようとする医療機関における合計回数を記載。

※「在宅に赴いて診療（往診、訪問診療）」とは、自宅へ赴くものとする。施設、グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅等は含まない。

3 在宅に赴いて診療（往診、訪問診療）する合計診療患者数に占める死亡患者数（うち医療機関以外での死亡患者数）

	医療機関名	現 状	実 績
	※医療機関ごとに記載	(補助金交付申請の前月から過去6箇月間の状況)	(補助金交付申請の月から翌年3月末までの取組)
在宅に赴いて診療（往診、訪問診療）する合計診療患者数に占める死亡患者数	・勝田病院	死亡患者数:16名(うち医療機関以外:12名)	死亡患者数:24名(うち医療機関以外:20名)
	・関内科医院	死亡患者数:2名(うち医療機関以外:0名)	死亡患者数:4名(うち医療機関以外:1名)
	・あやべ内科医院	死亡患者数:0名(うち医療機関以外:0名)	死亡患者数:1名(うち医療機関以外:1名)
		死亡患者数:名(うち医療機関以外:名)	死亡患者数:名(うち医療機関以外:名)
	連携する医療機関内の合計	死亡患者数:18名(うち医療機関以外:12名)	死亡患者数:29名(うち医療機関以外:22名)

※在宅に赴いてこれから診療を始めようとする、又はその取り組みを拡充しようとする医療機関における合計診療患者数に占める死亡患者数（うち医療機関以外での死亡患者数）を記載。

※「在宅に赴いて診療（往診、訪問診療）」とは、自宅へ赴くものとする。施設、グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅等は含まない。

4 グループ化した医療機関が後方支援病院等（グループ内外問わず）への在宅医療患者の診療の紹介数、急変時の受入数及び後方支援病院等からの逆紹介数

	現 状 (グループ化前 (R3年度 (A)))	実 績 (グループ化後 (R4年度 (B)))	差 (B) - (A)
紹介数	12件	5件	7件
急変時の受入数	5件	8件	3件
逆紹介数	12件	43件	31件